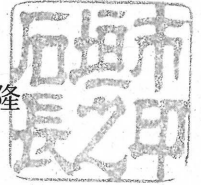


令和8年10月14日

沖縄防衛局

局長 村井 勝 様

石垣市長 中山 義 隆



令和8年度日米共同統合演習「Keen Sword 27」の実施に係る要請書

時下、貴職におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素から石垣市政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、本市において実施されます令和8年度日米共同統合演習「Keen Sword 27」につきましては、過去に行われた訓練と比べ部隊の参加人数及び使用する装備品等の規模拡大が顕著であり、地域住民や市民団体から不安や抗議の声が上がっております。

また、去る10月3日に沖縄本島で発生した強盗殺人事件では、米海兵隊の男が容疑者として逮捕されており、繰り返される米兵の凶悪犯罪に対し深い憤りを覚えるとともに、再発防止の徹底を強く求めるものでございます。

このような実情を踏まえ、米軍も多く参加する統合演習の実施にあたり、市民不安の解消と安全な訓練の確保の観点から、下記の事項について特段の配慮を求めます。

記

- 1 訓練の実施にあたっては、安全対策を徹底し、使用する装備品等の厳格な運用管理に努めること。また、夜間の騒音を伴う訓練は決して行わないこと。
- 2 空港及び港湾を使用する際は、民生利用の優先及び各管理者との事前調整の徹底に努めること。また、駐屯地への資機材の輸送にあたっては、通勤・通学など往來の激しい時間帯を避け、市民生活に影響の少ないルートで運行計画を立てること。
- 3 輸送機やオスプレイの運用に関し、運用上やむを得ない場合を除き、原則、住宅地・人口密集地での飛行を避けること。
- 4 訓練に参加する米軍の夜間外出を原則禁止とし、島内での行動範囲を最小限に留めること。特に、市街地での飲酒は絶対に行わないこと。